

実験2 / 階段室の解体撤去の工法と施工性を検証する



ブレイカーは汎用的な工法。騒音・振動が課題。



解体用ニブラー(重機)。工事期間は短縮できる。



ウォールソーによる解体(右2点も)。



躯体切断の低騒音化が期待できる。



解体材の撤去は人力とレッカー(重機)で。

エレベータと外廊下新設のために既存階段室を解体撤去。その工法を検証。